



女性の健康週間



3月1日～8日は「女性の健康週間」です。生涯を通じて女性が健康で明るく、自立して過ごすためには、生活の場（家庭、地域、職域、学校）を通じて、女性の様々な健康問題を社会全体で総合的に支援することが重要です。

【女性のがんと検診】

女性特有のがんは、40～50歳代以降に多くみられますが、最近では若い女性にも増えています。定期的に検診を受けましょう。

◆子宮頸がん

子宮の入り口付近（頸部）にできるがんで、20～30歳代の若い女性に増えています。HPV(ヒトパピローマウイルス)という性交渉で感染するウイルスが原因であることが解明されています。HPVはセックスの経験のある女性なら誰でも感染しうるありふれた存在のウイルスで、感染しても90%以上で自然消失します。一方、HPV感染が長期化するとがんに行進する可能性があります。子宮頸がんは検診でがんになる前の段階で発見できるので100%近く予防できるがんです。このため、定期的な検診がとても重要です。検査には頸部の細胞を採って調べる細胞診、HPV検査があります。さらにHPV感染を予防する子宮頸がん予防ワクチンも承認され、使用が始まりました。

◇子宮頸がん予防ワクチン

子宮頸がん予防ワクチンは全ての発がん性HPVの感染を防ぐものではありませんが、子宮頸がんから多く見つかるHPV16型、18型の2つのタイプの発がん性HPVの感染を防ぐことができます。子宮頸がんワクチンの接種対象者は10歳以上の女性です。子宮頸がんの発症は20代以降に多いですが、発がん性HPVに感染する可能性が低い10代前半に子宮頸がんワクチンを接種することで、子宮頸がんの発症をより効果的に予防できます。ワクチンを接種した後でも、全ての発がん性HPVによる病変が防げるわけではないので、早期発見するために子宮頸がん検診の受診が必要です。ワクチンを接種した後も、20歳を過ぎたら定期的に子宮頸がん検診を受けましょう。


◆乳がん

乳房にある乳腺に発生する悪性腫瘍で、患者数は近年急増しています。遺伝的な要因などいろいろな原因が考えられますが、欧米型の食生活やストレスが関係しているとも言われます。乳がんの症状はさまざまで、しこり、血性乳頭分泌、乳房の陥没、皮膚のくぼみ、痛み、脇の下のしこりなどです。自分で早期に発見できるケースが多いので、セルフチェックをかかさずに。もし異常を発見したら、早めに専門医（乳腺外科）に相談してください。セルフチェックの方法や専門科のある病院がわからない時は、かかりつけ医の産婦人科で相談を。

有料広告掲載欄


ヤマハ春の入会受付中!

1歳から



ただいま 体験レッスン実施中

無料



ヤマハ音楽教室

ヤマハ英語教室

お問い合わせ

四日市北センター 川越町高松（マックスバリュー北側） TEL 059-363-2767

第一楽器 エンゼルセンター 四日市市千代田町（八郷小学校東） TEL 059-325-6700